

## IBM App Connect Enterprise on Cloud

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

### 1. クラウド・サービス

#### 1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

##### 1.1.1 IBM App Connect Enterprise on IBM Cloud

IBM App Connect Enterprise on IBM Cloud は、さまざまなアプリケーションに接続する幅広い機能を備えた、IBM クラウド上のフルマネージド統合プラットフォームです。複雑な統合ニーズに対して、エンタープライズ全体にわたる接続オプションを提供します。

お客様は、IBM App Connect Enterprise Toolkit を使用して、「統合サーバー」としてパッケージ化され、展開される統合資産を構築することができます。IBM App Connect Enterprise Toolkit は、「クラウド・サービス」に含まれるイネープリング・ソフトウェアである IBM App Connect Enterprise (Developer Edition) をダウンロードすることによりアクセスできます。「統合サーバー」は、ワークロードの分離を確実にするために、個別のコンテナで実行されます。「コンテナ」は、お客様がそのすべての依存関係を含めてアプリケーションをパッケージ化し、ソフトウェア開発のための標準ユニットを作成できるようにします。コンテナには、ランタイム、システム・ツールやライブラリーなど、お客様が統合ソリューションを導入できるようにするのに必要なすべてのコンポーネントが含まれます。コンテナにはさまざまなサイズ (例: 4GB) が用意されています。このサイズは、コンテナがアクセスできるメモリー量を表しています。

さらに、お客様は、アプリケーション間に「フロー」を構築し、RESTful API 操作として「フロー」を公開することができます。「フロー」は、ソースとターゲット間で自動化されたデータ移動です。

本「クラウド・サービス」には、以下の月間量に限定される、「統合サーバー」と併せた「フロー」の使用が含まれます。

- 100 万回の「フロー実行」
- 1 テラバイトのアウトバウンド・データ転送
- 2000 時間のワークロード

お客様が「クラウド・サービス」を始められるように、サンプルが提供されています。これらのサンプルは単なる参考用ですので、実稼働目的では使用しないでください。

アプリケーションおよびサービスを構築、実行、管理するための IBM のオープン・スタンダード・クラウド・プラットフォームである IBM Cloud は、「クラウド・サービス」の技術上の前提条件です。プロビジョニング時点で、お客様は IBM Cloud アカウントを所有していなければなりません。新規ユーザーは、オンライン登録フォーム (<https://console.ibm.net/registration>) によりアクセス登録ができます。

#### 1.2 オプション・サービス

##### 1.2.1 IBM App Connect Enterprise Additional Flows

お客様が、「フロー」の使用について含まれた量を超える量を必要とする場合は、Additional Flows インスタンスにより、以下のアドオン月間量に対するサブスクリプションが提供されます。

- 1 万回の「フロー実行」
- 10 ギガバイトのアウトバウンド・データ転送
- 20 時間のワークロード

## 1.2.2 IBM App Connect Enterprise Hybrid Entitlement

IBM App Connect Enterprise Hybrid オファリングの使用許諾により、お客様は、クラウドを介して、またはソフトウェア (すなわち「IBM プログラム」) をオンプレミスで導入して、「クラウド・サービス」を使用できます。

この許諾に含まれる「IBM プログラム」は、IBM App Connect Enterprise です。

お客様は、「クラウド・サービス」のサブスクリプションを継続している限り、「IBM プログラム」を使用、テクニカル・サポートおよび「IBM プログラム」アップグレードへアクセスできます。

## 2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、下記リンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様書に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=BDB070B0C02811E5BA010CF56D8211B6>

## 3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

### 3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック ([https://www.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_overview.html](https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

\*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

### 3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

## 4. 料金

### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「仮想プロセッサ・コア」は、標準容量の仮想化されたプロセッサで、「クラウド・サービス」で利用できるか、または「クラウド・サービス」により管理されるものになります。

- 「ギガバイト」(「GB」)とは、「クラウド・サービス」によって処理されるか、「クラウド・サービス」において使用、保管、または構成される 2 の 30 乗バイトのデータとして定義されます。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。

## 5. 追加条件

2019年1月1日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs>に掲載されている条件を適用します。

### 5.1 検証

お客様は、i) IBM およびその独立監査人がお客様の本契約の遵守状況を検証するために合理的に必要となる記録、システム・ツールからの出力を保持し、要求に応じて提供し、ならびに ii) かかる検証の結果必要と判断された使用許諾を、IBM のその時点で最新の料金ですみやかに注文して支払うほか、その他の料金および債務を、IBM の請求書の記載に従い支払うものとします。これらの遵守状況検証義務は、該当する「クラウド・サービス」の有効期間中、およびその後の2年間有効に存続します。

### 5.2 イネープリング・ソフトウェア

IBM App Connect Enterprise on IBM Cloud では、「クラウド・サービス」の使用を促進するために、お客様がお客様のシステムにダウンロードするイネープリング・ソフトウェア(別途のライセンス条項に基づいて使用許諾されたもの)の使用が許可されます。お客様は、「クラウド・サービス」の期間中に限り、「クラウド・サービス」の利用に関連してのみ、イネープリング・ソフトウェアを使用することができます。イネープリング・ソフトウェアは現状のまま提供されます。

- IBM App Connect Enterprise (Developer Edition) - IBM App Connect Enterprise Toolkit が含まれます。
- IBM App Connect Enterprise 「スイッチ・モード」のオペレーション: オペレーションの「スイッチ」モードにより、オンプレミス・エンドポイントへの接続が可能になります。IBM Integration Bus v10.0.0.2以降で利用できます。
- IBM App Connect Enterprise v11、WebSphere Message Broker v7 もしくは v8、または IBM Integration Bus v9 もしくは v10 の使用許諾を別途得ているお客様は、IBM Integration Bus v10.0.0.2 以降を、既存のオンプレミス使用許諾に影響を及ぼすことなく、それ以前のバージョンの IBM Integration Bus と共に「スイッチ・モード」で実行するイネープリング・ソフトウェアとしてダウンロードし、導入することができます。
- IBM App Connect Studio: ユーザーがオフラインで統合プロジェクトを設計、テストし、「クラウド・サービス」にこれを公開することを可能にする「フロー」を構築するための、IBM App Connect Enterprise v11 のオプション・コンポーネントです。
- Secure Connector: 「クラウド・サービス」の「フロー」とファイアウォールの後に位置するエンドポイント間のデータ転送にセキュリティー対策を提供する、IBM App Connect Enterprise on IBM Cloud のダウンロード可能なオプション・コンポーネントです。この安全なゲートウェイ・コンポーネントの利用には、毎月 1GB の使用制限が適用されます。安全なゲートウェイ・コンポーネントは、ローカル・システムと「クラウド・サービス」環境間に暗号化接続を提供して、ローカル・アプリケーションと「クラウド・サービス」間でのより安全なデータ送信を可能にします。

イネープリング・ソフトウェアに付随するライセンス条項に矛盾する場合、本「サービス記述書」が優先します。

### 5.3 他社サービス(現状のまま提供)

「クラウド・サービス」は、第三者のデータ・サービス、データベース、Web サービス、ソフトウェア、またはその他のコンテンツ(以下総称して「コンテンツ」といいます。)へのリンクを含めること、またはそれらの「コンテンツ」にアクセスするために使用することができます。このコンテンツへのアクセスは、特定物として「現状有姿」で提供され、権原の保証、第三者の権利の非侵害または非抵触、ならびに商品性および特定目的適合性に関する黙示の保証を含むがこれに限らない、明示もしくは黙示のいかなる保証もされません。アクセスは、関連する第三者(または IBM)の単独の裁量により、いつでも終了させることができます。お客様は、かかるコンテンツにアクセスし、またはこれを使用するために、

第三者と別途契約を締結するよう求められる場合があります。IBM はかかる別途締結された契約の当事者ではありませんが、お客様は IBM に対し、「クラウド・サービス」の一部としてかかるアクセスを提供することを許可します。本契約の明示的な条件として、お客様は、かかる別途の契約の条件、および第三者コンテンツに適用できる使用ガイドラインまたは使用制限を遵守することに同意します。また、お客様は、かかる別途の契約、ガイドライン、または制限のお客様による違反に起因または関連するあらゆる請求に関して、IBM を免責することに同意します。特定のエンドポイント・アプリケーションには、アプリケーション・プロバイダーが課す使用制限が適用される場合があります。これは、アプリケーションに対して関連する「クラウド・サービス」の月次制限を超える許可コールの数の低減につながる可能性があります。

#### 5.4 制限および公正な使用ポリシー

「クラウド・サービス」は、定義されたトリガー・イベントが発生次第、特定の「フロー」を実行するよう設計されています。ただし、IBM はこれが設定期間内に発生することを保証するものではありません。

例外的な状況においては、IBM が対策を講じて、合理的ではないお客様の「フロー」(その他のユーザーやシステム性能全体に悪影響を及ぼしているもの)を中止または削除することが必要となる場合があります。